鳥取県地域医療介護総合確保基金
鳥取大学医学部附属病院　在宅医療推進のための看護師育成支援事業

平成 31 年度

在宅医療推進のための看護師育成プログラム

T - HOC　(Tottori - Home Oriented Care)

受 講 生 募 集 要 項

鳥取大学医学部附属病院

医療スタッフ研修センター

在 宅 医 療 推 進 支 援 室

「在宅医療推進のための看護師育成プログラム」受講者募集要項

(T - HOC ナース育成プログラム)

これからの日本の医療は、訪問診療や訪問看護の方向へ大きく舵をきり、住み慣れた自宅で安心して暮らすことができる地域包括ケアシステムおよびコミュニティ文化再構築が急がれています。今後ますます、患者の退院後の生活をイメージしながら入院中からセルフケア支援ができる病院看護師、在宅療養者の医療処置管理や薬剤管理などの高度な知識や技術を備えた訪問看護師が必要とされます。

そこで、鳥取大学医学部附属病院医療スタッフ研修センターでは、訪問看護への関心を深め、訪問看護能力を強化することができる３つの看護師育成コースを開設しました。在宅生活志向をもつ看護師育成コース、病院で働く看護師が患者の生活をイメージする力を強化することにより訪問看護への関心を高めるコース、そして、地域で訪問看護を担う人材への継続教育を行うことで訪問看護実践能力を高めるコースです。

現在の職場に勤務しながらでも学ぶことができるプログラムで、修了者には鳥取大学医学部附属病院より修了証が交付されます。

なお、本事業は鳥取県からの補助を受けて行うため、受講にかかる費用は不要です。

〇コース概要

	Ⅰ　在宅生活志向をもつ看護師育成コース	**Ⅱ　在宅医療・看護体験コース**	**Ⅲ　訪問看護能力強化コース**
目的	病院勤務看護師の 在宅生活志向を高める	在宅を見据えた看護実践の 強化や地域連携の技術取得	訪問看護師に必要な技術強化
対象	病院勤務看護師 基礎コース　40 名 実践コース※　８名 ※基礎コース修了者が対象	３年目以上の看護職　30 名 （准看護師を含む）	Ⅰ・Ⅱコース修了者、訪問看護経験者、潜在看護師、その他訪問看護の能力強化を目指す看護職　８名 （准看護師を含む）
内容	基礎コース（２年間） 実践コース（１年間） 計３年間 【基礎コース】 集合研修やディスカッション、年間を通じて課題を提出し、在宅意識を高める 【実践コース】 訪問看護ステーションや訪問診療同行実習等により現場体験や課題提出、振り返りを行う	集合研修及び訪問看護ステーション実習・退院後の家庭訪問等を体験する（半年間で集合研修を含め 3~4 回）	在宅医療処置管理等について講義及び演習、事例検討によるグループディスカッション、課題提出、訪問看護ステーション実習等（1 年間） ※勤務等を考慮し柔軟に対応するオーダーメイド型研修 ＊インターネットを利用した遠隔地受講システム（UCS）での受講も可能

Ⅰ　在宅生活志向をもつ看護師育成（Home Oriented Care：HOC）コース

基礎教育で学んだ在宅生活志向の看護は、病院就職後に中断され再教育の機会に乏しいです。そこで、基礎教育の在宅看護論を、Home Oriented Care（病院内における対象者の在宅生活を志向したケア、以下 HOC という）の概念に発展させて、継続教育を行うことで、対象者のこれまでの生活と退院後のこれからの生活を見据えた看護を実践することができる看護師を育成します。

本コースには、原則として入職後 2 年以内の看護師を対象とする基礎コースと、基礎コース修了者を対象とした実践コースの 2 つのコースがあります。

１．基礎コース

募集人数：４０名

対　　象：病院看護師（原則として入職後２年以内）

期　　間：２年間（２０１９年５月～２０２１年３月）

但し 2 年目にあたる 2020 年度の予定につきましては現在のところ未定です。

目　　的：病院勤務看護師の在宅志向を高める

1. これまでの生活とこれからの生活を意識し、対象者と関わることができる。
2. 在宅生活志向をもちながら、HOC の看護実践ができる。

時期		方法	テーマ・内容
基礎コース１年目	5 月		開講式
		個人課題	このコースへの思い
	6 月	集合研修	患者を生活の場に戻すために必要な視点を探る
		個人課題	今年度の私の目標
	9 月	セミナー	Ｔ－ＨＯＣひのセミナー
	11 月	個人課題	自分の病院の退院支援について知る
	12 月	集合研修	訪問看護ステーションへの出向から見えた在宅生活の視点での退院支援
	１月	個人課題	私が行った退院支援
	2 月	集合研修	退院支援に必要な視点
		個人課題	２年目の私の目標
	3 月	セミナー	Ｔ－ＨＯＣ特別セミナー
基礎コース２年目	6 月	集合研修	退院後の生活と地域資源について
	6～9 月	個人課題	受持ち患者への外来受診時インタビュー
	9 月	セミナー	Ｔ－ＨＯＣひのセミナー
	11 月		外来受診時インタビュー後の意見交換会
	11 月	集合研修	在宅生活志向による病院看護師と訪問看護師との連携看護の実践
	１月	個人課題	このコースを受けて実践していること、今後の課題
	3 月	セミナー	Ｔ－ＨＯＣ特別セミナー
			修了式

２．実践コース

募集人数：８名

対　　象：基礎コースを修了した者

期　　間：１年間

目　　的：①病院勤務看護師が在宅生活志向を高める

②訪問看護の実際を体験する

時期		方法	テーマ・内容
実践コース	５月		開講式
		集合研修	訪問看護制度、訪問看護師の役割・機能・特性
	６月	集合研修	患者中心の地域資源を用いた訪問看護の実際
	６月～11 月	実習	訪問看護ステーション実習・・・５日間 ・鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 （訪問看護ステーションの都合により日程を調整する） ※同じ施設内の訪問看護ステーション実習も可能
		実習	地域包括支援センター実習・・・１日間
		実習	訪問診療同行実習・・・１日間
	６月～10 月	実習	退院支援実習
	９月	宿泊研修	Ｔ－ＨＯＣひのセミナー
		個人課題	訪問看護ステーション実習レポート
	２月	集合研修	実習後の振り返り・ 在宅生活志向の看護の実践に向けて
	３月	セミナー	Ｔ－ＨＯＣ特別セミナー
			修了式

各コースの修了者には、修了証を発行します

３．病院・訪問看護ステーション間の出向・人事交流

[出向]

募 集 人 数：３名程度

対　　象：①　原則Ｔ－ＨＯＣ：Ⅰコース（基礎・実践コース）を修了した者
②　①の希望者が無い場合は、Ｔ－ＨＯＣ：Ⅱコース、Ⅲコースを修了した者
③　①②の希望者が無い場合は、Ｔ－ＨＯＣを受講している施設の出向を希望する看護師

資格・条件：看護師臨床経験３年以上
クリニカルラダーレベルⅡ～Ⅲ

期　　間：原則１年間　最長２年間（派遣先施設との協定により個別に対応）

目　　的：①訪問看護師の人員確保
②施設間の連携を強化する
③病院勤務看護師が在宅志向を高める

内　　容：訪問看護ステーションでの看護業務
出向先の訪問看護ステーションは３施設であり１施設１看護師とする
出向後は出向前の籍に戻り院内認定「退院支援ナース」等として承認し職場で活動する。

[人事交流]

未定

Ⅱ　在宅医療・看護体験コース

地域完結型医療において、病院で働く看護職に求められる能力、すなわち、患者が地域で療養できるよう入院中から支援することができる人材育成を行います。退院後の生活をイメージし、病気を抱えながらも地域で生活できるよう入院中から様々なケアを提供できる看護師を育成します。「患者の生活をイメージする力」を強化することにより、訪問看護についての関心や知識を深め、訪問看護師としての就労も自らのキャリアコースの一選択肢として考えることができるようになります。

募集人数：３０名
対　　象：勤務３年目以上の看護職（准看護師を含む）
期　　間：半年間（２０１９年5月～２０１９年１０月：２０２０年3月修了式）
目　　的：入院中の患者が地域で療養できるように意識した看護師の支援について理解する。

1. 退院後の患者の生活をイメージする力を養成する
2. 訪問看護師が在宅療養者および家族に対して果たす役割・機能・特性を理解する。
3. 患者が療養の場を移行する際に看護の継続性を重視したマネジメントができる。
4. より質の高い医療を推進するために、多職種と協働しチームの一員として役割を果たすことができる。

在宅医療・看護体験コース修了後、訪問看護師としての就労を希望する病院看護師は、引き続き訪問看護職員養成講習会（鳥取県看護協会）の受講、あるいは訪問看護実践能力強化コースを受講し、訪問看護師としてのキャリアアップをめざします。

時期	方法	テーマ・内容
5月		開講式
	集合研修	在宅療養に必要な知識を深める
6月	集合研修	地域を基盤にした看護実践を知る
6～10月	実習	退院後家庭訪問実習 ・入院中受け持っていた患者が退院（自宅・施設）した後に、訪問をする。 ・退院後の患者の生活を視野に入れた看護ケアとして入院から必要であったことについて思考する。
6～11月	実習	訪問看護ステーション実習・・・　３～５日間 ・鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 （訪問看護ステーションの都合により日程を調整する） ※同じ施設内の訪問看護ステーション実習も可能
8月		実習の振り返り　・訪問看護ステーション実習を終了してから実施
9月	宿泊研修	T―HOCひのセミナー
10月	集合研修	地域包括ケアシステムでの看護の役割と機能を考える
	個人課題	退院後家庭訪問実習レポート 訪問看護ステーション実習レポート
3月	セミナー	T―HOC特別セミナー
	修了式	修了式

修了者には、修了証を発行します。

Ⅲ　訪問看護能力(Visiting Nursing competency：VNC)強化コース

訪問看護に求められるスキルの高度化に対応するために、地域で訪問看護を担う人材への継続教育を行うものです。在宅療養者および家族に対して、熟練した看護技術を用いて、水準の高い看護が実践できる看護職者を育成します。また、本コースは、訪問看護師としての再就職を希望する潜在看護師への復職支援プログラムの一部でもあります。

募集人数：８名

対　　象：HOC 実践コース修了者、在宅医療・看護体験コース修了者、訪問看護経験者、訪問看護師としての再就職を希望する潜在看護師、その他訪問看護能力の強化を目指す看護職（准看護師を含む）

期　　間：１年間（２０１９年5月～２０２０年1月：２０２０年3月修了式）

目　　的：訪問看護師に必要なスキルの強化

1. 在宅療養者及び家族を全人的に捉え、専門的な知識と質の高い看護を提供できる。
2. 在宅療養者が療養の場を移行する際に、医療と介護の連携、看護の継続性を重視したマネジメントができる。
3. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働しチームの一員として役割を果たすことができる。
4. 地域包括ケアシステムを効果的に活用した療養者支援の質向上のため、看看連携におけるリーダーとして地域の人材育成の役割を果たすことができる。

時期	方法	テーマ・内容
5 月		開講式
	必須講義	訪問看護制度、訪問看護師の役割・機能・特性
		セルフケアの概念と意思決定支援
6～11 月	実習	地域包括支援センター実習・・・1 日
7～11 月	実習	訪問看護ステーション実習・・・２～３日間 ・鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 （訪問看護ステーションの都合により日程を調整する） ※同じ施設内の訪問看護ステーション実習も可能
9 月	宿泊研修	T―HOCひのセミナー
11 月	集合研修	実習の振り返り
1 月	個人課題	訪問看護ステーション実習レポート
3 月	セミナー	T―HOC特別セミナー
	修了式	修了式

内容及び方法：

在宅医療処置管理等についての講義及び演習、事例検討によるグループディスカッション、課題提出等により能力強化を図ります。

受講者の経験、勤務等を考慮し柔軟に対応するオーダーメイド型研修です。

また、インターネットを利用した遠隔講義システム「UCS（Unified Communication System）」を導入し、東部・中部の拠点とした施設で、講義の一部が受講できます。

1. 研修目的に応じた講義、演習、実習を行う。
2. 本プログラム独自開催の講義に加えて以下の講義も受講できます。
   ・鳥取大学医学部附属病院で実施する専門看護師、認定看護師による専門分野コース研修の受講
   ・鳥取大学医学部の講義等の聴講（在宅看護学、在宅看護学演習、在宅看護学実習、家族看護論、尊厳のある死と看護）
   ・認定看護師教育課程の聴講（ＤＶＤ学習）
3. 各種研修会、研究会、学会などへも参加する。
4. 訪問看護ステーション実習（２～３日間）・地域包括支援センター実習（1 日間）と実習の振り返りを通して、学習を深める。

◆コース内容（※予定のため、変更する場合があります。）

	科目	方法	講義	備考
Ⅰ在宅医療の社会システム	1.地域包括ケアシステム	講義	10	
Ⅱ在宅医療に必要な病態学	2.在宅医療病態論	講義・演習	47	一部、鳥取大学医学部附属病院の看護部コース研修に参加
Ⅲ訪問看護に必要な技能	3.在宅における医療処置管理	講義・演習	44	一部、鳥取大学医学部附属病院の看護部コース研修に参加
	4.在宅薬剤管理	講義	8	
	5.フィジカルアセスメント	講義・演習	10	
	6.セルフケア支援	講義・演習	3	
	7.家族支援	講義	9	一部、鳥取大学医学部保健学科学部生講義に参加
	8.エンド・オブ・ライフケア	講義	7	一部、鳥取大学医学部保健学科学部生講義に参加
	9.対人関係	講義	7	
	10.リーダーシップ	講義 ＤＶＤ学習	5	
	11.指導	講義 ＤＶＤ学習	5	
	12.看護倫理	講義 ＤＶＤ学習	7	
Ⅳ演習科目	13.在宅看護学	講義	1	鳥取大学医学部保健学科学部生講義の一部に参加
	14.在宅看護学演習	講義・演習	1	鳥取大学医学部保健学科学部生講義の一部に参加
	15.在宅看護学実習	実習	4	
Ⅴ 訪問看護に必要な知識習得のための研修会や学術集会	16.訪問看護に関する学会、研修会等			
	計		168	

・プログラムから各受講者が獲得したい能力に関連する科目を中心に３０講義以上を受講します。
・2.～3.の科目には、鳥取大学医学部附属病院看護部主催の研修も含みます。
学部講義や鳥取大学医学部附属病院看護部主催の研修会などと講義時間が重なっていることがあるためすべての内容を受けることはできません。
・訪問看護に関する学会、研修会等、病院内の研修・カンファレンス等への参加についても、内容・時間数に応じて３０講義に含めることができます。
・各自が有益と考える会合に出席し、受講証明書および報告書を支援室に提出していただきます。
受講時間数への換算は、参加された各研修会の内容・時間を審査して支援室が決定いたします。
・訪問看護ステーション実習・地域包括支援センター実習は３０講義とは別に、受講者全員が実習をします。
・１講義は９０分です。

時間割（基本）	
1限	9時00分～10時30分
	休憩
2限	10時40分～12時10分
昼休憩	
3限	13時00分～14時30分
	休憩
4限	14時40分～16時10分

・修了者には、鳥取大学医学部附属病院より修了証を発行します。
また「Ⅰ.在宅医療の社会システム」「Ⅱ.在宅医療に必要な病態学」「Ⅲ.訪問看護に必要な技能」の各分野から１講義以上を受講した方は「Ｔ－ＨＯＣ在宅支援ナース」として認定します。

○応募手続き

1)　受講申請受付期間

受講コース	申請受付期間
Ⅰ在宅生活志向をもつ看護師育成コース 基礎コース	**平成 31 年 4 月　1 日（月）～ 4 月 22 日（月）**
Ⅰ在宅生活志向をもつ看護師育成コース 実践コース	**平成 31 年 2 月 15 日（金）～　3 月 31 日（日）**
Ⅱ在宅医療・看護体験コース	
Ⅲ訪問看護能力強化コース	

※受講申請に関してご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

2)　提出書類

(1)　様式１　受講申込書

(2)　様式２　履歴書

(3)　様式３　受講承認書　（所属長の承認が必要です。）

☆様式は下記のとおりホームページからダウンロードいただき、様式 1～3 に必要事項をご記入いただき、お申込みください。

検索　鳥大　在宅　▶　在宅医療推進のための看護師育成事業　▶　募集要項　▶　受講申込書

3)　送付先

〒683-8504　鳥取県米子市西町 36－1

鳥取大学医学部附属病院　医療スタッフ研修センター

在宅医療推進支援室

電話　0859-38-6994

FAX　0859-38-6996

4）決定通知

受講の決定は受講決定通知書を所属長宛に送付します。

発送予定　Ⅰコース　平成 31 年 4 月末

実践コース　平成 31 年 4 月末

Ⅱコース　平成 31 年 4 月末

Ⅲコース　平成 31 年 4 月末